

女子サポーターガイドライン

【レディースガード（アンダーガード）について】

本大会出場的女子選手には、チェストガードとスネサポーターに加えてレディースガード（アンダーガード／下腹部防具）の着用が義務付けられています。指定商品は以下といたしますので、出場にあたり各選手は事前に購入して試合に備えてください。

- ① 女性用アンダーガード イサミ社製 品番 SS-6
- ② 女性用ファールカップサポーター マーシャルワールド社製 品番 GG33

【チェストガードについて】

同じく着用義務のチェストガードについては、以下の商品を基準商品とします。

その他のサポーターについては、公式サイトの防具ガイドライン (<https://www.shinkyokushinkai.co.jp/rules/bogu/>) に準拠し、主催者側が使用不適格（硬質シールド製、他）と判断した場合は使用できません。

- ① 女子用チェストガード マーシャルワールド社製 品番 CGS
- ② 女子用チェストガード マーシャルワールド社製 品番 CG32
- ③ 女性用チェストガード イサミ社製 品番 TT-28（カップ付）
- ④ イサミスポーツブラ イサミ社製 品番 L-711／712 ・ 713（パッド別売り）
- ⑤ インナーショートブラ イサミ社製 品番 D-16（パッド付）
- ⑥ 女性用チェストガード ウイニング社製 品番 GL-28／38
- ⑦ チェストガード テイクオフ社製（現在製造中止）

【スネサポーターについて】

スネサポーターの基準商品は以下と致します。チェストガードと同じく、公式サイトの防具ガイドラインに準拠し、硬質シールド製の商品（サッカーのレガースなど）の使用はできません（色は白とします）。

- ① 新極真会レグ&アングル イサミ社製 品番 SL-227
- ② 新極真会イージーレガース イサミ社製 品番 SL-289
- ③ 新極真会トータルレグガード イサミ社製 品番 SL-250
- ④ 新極真会レグサポーター マーシャルワールド社製 品番 LS
- ⑤ 新極真会指先&レグサポーター マーシャルワールド社製 品番 LSY
- ⑥ 新極真会ベロクロレグサポーター マーシャルワールド社製 品番 LSB
- ⑦ 上記6商品の新極真会の同等モデル

※但し主催者が使用不適格と判断された場合は使用できません

※スパッツは丈の長いもの（大腿部を保護するとみなされるもの）は不可とします。

※女子階級はサポーター着用競技ですので、上記のような一定基準を明示させていただきました。

※試合中にサポーター類の違反を確認した場合、失格になる場合がありますのでご了承ください。

【！重要！】

抗原検査時にサポーターチェックを行います。主催者が不適と判断した場合、試合に出場できませんので必ず事前にご準備ください。なお、試合中にサポーター類の違反を確認した場合、失格になる場合がありますのでご了承ください。

テーピング注意事項

【テーピングについて】

大会前に生じた負傷の為にテーピングを必要とする時は、必ず傷病名の記載された整形外科医師による診断書（接骨師等、医師でない人物の書いた文書は診断書と認められません）を持参し、試合当日、大会医師の認定を受けてください。

大会医師によるテーピング上への検印をもって、試合中のテーピングは許可されます。また同様に試合進行後に生じた負傷に対するテーピングについても、大会医師による診察後の検印が必要です。ただし、「試合中のサポーター・テーピングは原則として認めない。」という大会の原則に則り、安易なテーピングの使用は許可されないということをご了承ください。

その他、以下についてもご留意ください。

1. 試合の公正の原則に基づいて、テーピングは選手自身、あるいは選手を支えるスタッフが巻く。医療班は一切の手助けをできない。
2. テーピングが試合において武器となりうると判断した場合は巻き直しを指示する。基本的には2重巻き程度までとする。
3. 以上の規定以外にも、審判長と協議して不適切と判断した場合、巻き直しを命ずる。

【試合中に発生した傷病について】

限りある医療具、及び試合の公正の原則に基き、試合を控えた選手に必要以上の治療はできません。

直接打撃制のカラテにおいて、通常起りうる打撲等、医療班が軽傷と判断したものに対しては、各自処置を行ってください。

その際に、必要な備品及び医薬品（氷・消炎鎮痛スプレー・湿布・絆創膏等）は、選手各人にてご用意ください。大会医療本部では、これらのものを用意しておりません。ただし出血を伴う傷病については、軽傷でも医療班が処置をします。

また試合後、身体の異変が認められた場合（特に頭部への打撃によって）は、すぐに医療本部を訪ねてください。

【試合進行中の重傷について】

試合中に発生した重傷については、選手の熱意、試合状況に応じ、審判長及び審判団と協議の上、柔軟に対処します。

安易なドクターからの試合中止要請は行わない所存ですが、選手の大会後の人生に重篤な後遺症を残す可能性のある場合、最高審判長及び主審にドクターから試合中止を助言しうる事をご了承ください。

※大会医師業務は審判員等と協議の上、「ドクターストップ」判断が主であり、受傷者発生時に応急的な処置対応はするものの、症状持続・急変時等は速やかにしかるべき医療機関を受診してください。